



2021年2月2日

各 位

会社名 大和工業株式会社
代表者名 取締役社長 小林 幹生
(コード番号: 5444 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 米澤 和己
(TEL 079-273-1061)

業績予想の修正に関するお知らせ

2020年11月2日に公表いたしました2021年3月期通期(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|---------|--------|---------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 132,000 | 9,000 | 20,500 | 7,000 | 105.61 |
| 今回修正予想(B) | 136,000 | 9,500 | 19,500 | 4,000 | 60.90 |
| 増減額(B-A) | 4,000 | 500 | △ 1,000 | △ 3,000 | |
| 増減率(%) | 3.0 | 5.6 | △ 4.9 | △ 42.9 | |
| (ご参考)前期実績 (2020年3月期) | 181,964 | 11,333 | 23,125 | 14,762 | 220.72 |

2. 差異および修正の理由

前回公表(2020年11月2日公表)時点の予想に比べ、鉄鋼事業を営む連結子会社のうち、日本では鋼材需要の落ち込みや低調な荷動きが継続するなか、販売価格の押し上げに取り組んでいるものの、鉄スクラップ価格の高止まりが影響し、増収減益の予想となっております。また、タイでは、国内及び主要輸先先において厳しい市場環境が継続していますが、前回公表時点に比べ、販売数量の改善が見られることから、増収増益の予想となっております。

一方で、2021年1月21日に公表いたしましたとおり、当社の持分法適用関連会社であるワイケー・スチールコーポレーション(以下、YKS)が、独占規制及び公正取引に関する法律(以下、公正取引法)に違反する行為があったとして、韓国公正取引委員会からの429億48百万ウォン(約40億円)の課徴金納付命

令を受けております。これに関して、2020年9月に当社の連結子会社であるヤマト・コリア・ホールディングスカンパニーリミテッド(以下、YKH)が営む棒鋼事業を分社分割によりYKSに承継し、YKS株式の51%をDaehan Steel Co., Ltd.(以下、大韓製鋼社)に譲渡したことから、現在のYKSはYKHと大韓製鋼社との合弁会社として運営されておりますが、当該課徴金が分社分割前の期間を対象とした公正取引法関連案件から生じたものであることから、大韓製鋼社との株式譲渡契約の特別補償条項に照らして、本件に起因する損失の最終負担者は全てYKHとなります。その為、業績予想には、YKSが一旦納付する課徴金の49%部分(約20億円)を持分法による投資利益のマイナスとして計上するとともに、51%部分(約20億円)については、大韓製鋼社に対する損失負担として、YKS株式の譲渡価額を調整することによる関係会社株式売却損として特別損失に計上する予定としております。なお、YKSは公正取引委員会の決定に対して、事実認定等に異議があることから、不服申し立てを行う予定としております。

以上より、連結業績予想につきましては、売上高を136,000百万円(前回予想比4,000百万円増)、営業利益を9,500百万円(前回予想比500百万円増)、経常利益を19,500百万円(前回予想比1,000百万円減)、親会社株主に帰属する当期純利益を4,000百万円(前回予想比3,000百万円減)にそれぞれ修正いたします。

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上